

|      |       |           |             |        |      |
|------|-------|-----------|-------------|--------|------|
| 講義名  | 児童心理学 |           |             | 授業形態   |      |
| 担当教員 | 権藤 真織 | 開講期・曜日・時間 | 前期 火曜日 1 時限 |        |      |
|      |       | 単位数       | 2           | 履修開始年次 | 3 年生 |

**主題と概要**

近年の生涯発達観の観点から、我々は生まれてから死ぬまで、生涯にわたって発達、変化する。また、人生100年!ということばもあなたがたのお題目ではなく、100歳をこえた高齢者が8万人に達した。長寿者の研究から、豊かな高齢期を過ごすためには、子どもの頃の経験や環境の影響も少なくないとの報告もある。この長きにわたる生涯において、豊かにしあわせに生きていくためにも、子ども時代を豊かに過ごすこと、しあわせに暮らせる環境を整えることは重要な課題であるといえる。児童期の子どもの発達の特徴、現状と課題について考察を深める。

**到達目標**

「発達」および発達を取り巻く関連の概念を理解する  
「学習」および学習を取り巻く関連の概念を理解する  
生涯発達における「児童期」の意義を理解する  
心理学的知見を活用して、児童期の課題や諸問題に寄与するアイデアを考察する

**提出課題**

授業で活用するワークシートやレスボンで、自分の学びについてコメントを提出する。  
みんなからのコメントは、クラスでシェアして、クラスの意見からも学び合う。  
授業内で取り上げたトピックに関連するテーマを各自設定して、3分間のプレゼンテーションを行う(動画を作成する)。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法**

提出物は、内容確認後、授業内で返却する。  
また、学生の学習内容については、授業時にクラス全体にコメントする。

**評価の基準**

授業内課題 30%  
中間レポート(プレゼン動画) 35%  
最終課題/試験 35%

**履修にあたっての注意・助言他**

今までのあなた自身の学びの成果や成長を振り返り、この授業で何を学びたいか、新しく何を身につけられたか、自己評価して、次につなげてほしいなと思っています。  
授業では、児童期を取り扱うので、あなた自身の児童期についても思い起こしながら学びます。グループワークでは、子ども時代の経験など個人的なことにも言及することもあるかと思いますが、仲間同士を支持しよく語り合えればと思いますので、自分で話してもよいと思うことを選んで、話したくないと思うことは話す必要はありません。一人ひとりが能く巧くしゃべることができる事情や範囲、程度が異なりますので、それぞれできる範囲で語り合います。

**教科書**

**参考図書**

**その他**

テキストは使用しないが、ワークシートを活用するので、A4プリントをファイリングできるこの科目だけのファイルを用意してください。その他、資料等配布するので、活用してください。  
ラーニングポートフォリオを作成して、それをあなたのオリジナルテキストにしてください。  
ワークシートは授業時に配布します。

**授業計画**

- 第1回 オリエンテーション: このクラスの学び方-私たちの学びの成果とこれら-【復習: アクティブラーニングについておさらいし、自分なりの学び方についてイメージし、プランを練る。予習: さまざまな心理テストにして調べてみる。合計240分】
- 第2回 自己理解にチャレンジ! : 2つの心理学-心理学的人間理解とは?おさらい-【復習: 心理テストについておさらいし、自己理解を深める。予習: 子どもについての心理学的な研究例を探索してみる。合計240分】
- 第3回 心理学と児童心理学: 研究ってなあに?子ども理解の方法【復習: 2つの心理学についておさらいし、自分なりの「人間理解」についてまとめる。予習: 発達心理学についてのさまざまな研究例を探索してみる。合計240分】
- 第4回 発達ってなあに?: 私たちの暮らしの中の発達と心理学【復習: 「発達」の語解についておさらいし、図解にもチャレンジする。予習: 現代社会において「児童期(小学校時代)」の子どもが直面している課題や問題について調べてみる。合計240分】
- 第5回 児童期の暮らしと発達: 発達課題【復習: 児童期の子ども達の発達と課題についておさらいする。予習: 子どもの望ましい発達について自分なりの理想をまとめてみる。合計240分】
- 第6回 発達ってなあに?: 私たちの暮らしの中の学習と心理学【復習: 「学習」について日常例と理論の対比を行い理解を深める。予習: 子どもたちの望ましい生活習慣、学習習慣の形成について、獲得に向けた支援を考える。合計240分】
- 第7回 児童期の暮らしと学習: 基本的生活習慣と学習習慣【復習: 子どもの事例についておさらいする。予習: 自分自身の行動上の課題について、いくつか例を挙げて考えてみる。合計240分】
- 第8回 学習: 学習のプロセスを体験しよう-上手に学習するには?-【復習: 学習のしくみをおさらいし、行動修正のプランをまとめる。予習: 発達障害について調べ、どのような障害や困難さがあるかまとめる。またどのような支援がなされているか調べる。合計240分】
- 第9回 発達をつまづきと学習をつまづき-発達障がい・学習障害-【復習: 発達障害に対する支援についておさらいする。予習: 応用行動分析学について調べておく。合計240分】
- 第10回 発達支援と学習支援-さまざまな支援と応用行動分析学の支援-【復習: 応用行動分析学についておさらいし、様々な応用例を調べる。予習: 発表テーマについて検討する。合計240分】
- 第11回 ポスターセッション-動画発表の準備 : テーマ検討【復習: 自分のテーマについてまとめる。予習: 発表のプランを練る。合計240分】
- 第12回 ポスターセッション-動画発表の準備 : 作成【復習: プレゼンテーションについておさらいする。予習: 発表原稿を作成する。合計240分】
- 第13回 ポスターセッション-プレゼンテーション動画の配信【復習: 動画作成についておさらいする。予習: 動画作成と配信の練習をする。合計240分】
- 第14回 ポスターセッション-動画発表の振り返り【復習: 自分のプレゼンテーションスキルについて考察する。予習: さまざまなプレゼン動画を視聴し、スキル向上についてプランを練る。合計240分】
- 第15回 まとめ: 心理学的に児童を理解するってどういこと?【復習: クラスメイトの発表から理解を深める。予習: 今後の自分の学びについて考察する。合計240分】

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

|   |   |
|---|---|
| <input type="radio"/> ア: PBL(課題解決型学習)                       | <input type="radio"/> イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| <input type="radio"/> ウ: ディスカッション、ディベート                     | <input type="radio"/> エ: グループワーク                                  |
| <input type="radio"/> オ: プレゼンテーション                          | <input type="radio"/> カ: 実習、フィールドワーク                              |
| <input type="radio"/> キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) |   |

**ロールプレイ演習・事例検討**

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

DP1: 目標の から を達成することで、共通DPの第一項目に貢献できる。  
DP2: 目標の および を達成することで、共通DPの第二項目に貢献できる。  
DP3: 目標の および を達成することで、心理コースのDP第一項目に貢献できる。  
DP4: 目標の および を達成することで、心理コースのDP第二項目に貢献できる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

対面授業では、授業に関連するテーマについて、アンケート形式のワークでコメントを行い、それをクラスでシェアする。レスポンスを使用するので、各自ノートPCかスマホを持参するようお願いいたします。

**実務経験の有無及び活用**

保育所勤務: 児童期の前段階である乳幼児の発達について、その仕組みや事例を紹介する。  
障害児保育: 児童期の発達をつまづきやその支援について紹介する。

**備考**

授業の初回時に、今後の授業スケジュール(グループワークや演習、中間課題の提出日やプレゼンテーションの日程など決めたいと考えています。履修して単位の取得を確実にしたい学生は、なるべく初回の授業に出席してください。  
授業の出欠については、原則、大学の方針に沿って確認いたします。